

珍しい管弦楽曲 チェコ Minor Orchestra Works Ctzech

作曲者		生没年	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ★★★★:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Antonin Dvorak	ドボルザーク	1841-1904	序曲”わが家”(1882)	★★★★	舞曲風な曲です。		TKCC70284	シャルプラッテン
			序曲”フス教徒”(1883)	★★★★★	モルダウに出てくる旋律も登場します。変化に富み聞きごたえがあります。		TKCC70281	シャルプラッテン
			序曲”自然の中で”(1891)	★★★★	タイトル通り、自然を表しています。		TKCC70282	シャルプラッテン
			序曲”オセロ”(1892)	※※	オセロを表現しているのですが、面白みがありません。		TKCC70285	シャルプラッテン
Zdenek Fibich	フィビヒ	1850-1900	管弦楽とクラリネットのための牧歌	★★★★	(6分)クラリネットの音色をやさしく味わえます。		8573157	Naxos
			歌劇”メッシーナの花嫁”第3幕の葬送行進曲(1883)	★★★★	(9分)変化に富み聞き映えがします。		8574120	Naxos
			管弦楽のための牧歌”夕暮れに”(1893)	※※	タイトル通りの曲です。(16分)		8573157	Naxos
			歌劇”嵐”第3幕への序曲(1894)	※※	(8分)特に聴きどころ無し。		8574120	Naxos
			歌劇”シャールカ”序曲(1897)	★★★★	変化に富んでいます。(9分)		8574120	Naxos
			組曲”故郷の印象”(1898)	※※	5曲で25分。軽く聞きやすい内容です。		8572985	Naxos
Leos Janacek	ヤナーチェク	1854-1928	シュルークとヤウ(1928)	★★★★	劇音楽のスケッチとして残されていたものを1978年にまとめた版による演奏。2曲で11分。変化に富んで聴きやすいです。		SU3888-2	SUPRAPHON
Josef Bohuslav Ferster	フェルステル	1859-1951	組曲「イン・デンベルゲン」(1884)	※※	4曲で24分。特に聞きどころなし。		MDG63222442	Mdg

Ulius Fucik	フチーク	1872-1916	行進曲”剣士の入場”(1905)	☆☆☆☆	フチークの最も有名なマーチです。雷鳴といなづまという別題もあります。(3分)		LPです。 K17C-9325	キングレコード
			ワルツ”冬の嵐”	☆☆☆☆	主旋律の短調の雰囲気が良いです。(12分)			
			年老いた熊	※※	ファゴットソロが熊がゆっくり歩く様子を表しています。(4分)			
			フローレンス行進曲 (1913)	☆☆☆☆	剣士の入場以上に聞き映えのするマーチです。フローレンスはフィレンツェのことです。(5分)			
			序曲”マリナレーラ”	※※	いろいろな民謡風の主題が登場します。(10分)			
			ワルツ”ドナウの歌”	※※	レハールのワルツのような雰囲気です。(11分)			
			行進曲”ヘルツェゴヴィーナ”	※※	ヘルツェゴビナもチェコと同じく、当時はオーストリア-ハンガリー帝国の一部でした。トルコ風な旋律が登場します。(3分)			
Josef Suk	スーク	1874-1935	組曲”おとぎ話”(1900)	☆☆☆☆	劇の付随音楽。4曲で30分。楽しく聞けます。		483 4781	DECCA
Jan Hanus	ハヌシュ	1915-2004	Salt is better then Gold バレ-組曲第1番(1952)	※※	5曲で28分。特に聞きどころ無し。		SU3701-2 001	SUPRAPHON
Walter Kaufmann	カウフマン	1907-1984	6つのインドの小品(1965)	※※	インドに亡命していた時期の作品。14分。私のイメージするインドとは違い、アラビア風に近い。		555639	Cpo
Miloslav Kabelac	カバラーチ	1908-1979	序曲第1番(1939)	※※	9分。はでなマーチ風の曲。		C5546	Capriccio
			序曲第2番(1947)	☆☆☆☆	9分。冒頭からティンパニや金管が活躍。中間以降の3拍子の連なりが圧倒的。		C5546	Capriccio